

平成 18 年度第 3 回常務理事会（通信会議）議事録

日 時：平成 18 年 7 月 14 日（金）～7 月 28 日（金）

参加者：

理事長：武谷 雄二

理事：石塚 文平、稲葉 憲之、宇田川康博、岡井 崇、岡村 州博、落合 和徳、嘉村 敏治、
田中 俊誠、星 和彦、丸尾 猛、吉川 裕之、吉村 泰典、和氣 徳夫

監事：荒木 勤、佐藤 章

幹事長：矢野 哲

幹事：内田 聡子、小原 範之、北澤 正文、小林 陽一、古山 将康、清水 幸子、下平 和久、
角田 肇、阪埜 浩司、平田 修司、堀 大蔵、村上 節、由良 茂夫

総会副議長：足高 善彦、松岡幸一郎

資料

第 3 回常務理事会通信会議内容

1：第 2 回常務理事会議事録（案）

庶務 1：第 62 回学術集会長の公募について

庶務 2：平成 19 年度専門委員会公募小委員会（班研究）研究課題公募について

庶務 3：婦人科腫瘍委員会「登録業務と登録業務一元化に関する小委員会」委員追加につい
て

庶務 4：厚生労働省がん対策推進室におけるヒアリングについて

庶務 5：文科省「貴法人の実地検査の実施について（通知）」

庶務 6：科学技術政策研究所「科学技術の状況に係る総合的意識調査」回答候補被推薦者氏
名

庶務 7：日本医学会・日本医師会合同シンポジウム演者選出のご依頼について

庶務 8：「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」事業実施報告書の送付について

庶務 9：日本不妊学会「学会名称変更のご挨拶」

学術 1：「朝日賞」候補者推薦について

学術 2：日本婦人科腫瘍学会「体癌ガイドライン」に関する指摘

倫理 1：7 月 5 日付朝日記事「少子化対策 不育症の治療助成考えよ」

学会のあり方 1：リクルート DVD 作製委員会委員名簿（案）〈改訂-2〉

学会のあり方 2：医師不足関連記事

広報 1：地方部会別パスワード登録率

女性健康週間 1：平成 18 年度地方部会担当公開講座一覧

武谷理事長から平成 18 年 7 月 14 日付各役員、議長団、幹事長、幹事宛書面にて、平成 18 年度第 3 回常務理事会を 7 月 14 日から 7 月 28 日迄を期間として、通信にて行う旨の案内状と通信会議次第（報告事項、協議事項）及び関連資料が送付された。予定通り 7 月 14 日に通信会議が開始され、理事長、常務理事の総数 9 名が参加した。武谷理事長が議長となり、議事録署名人として、理事長及び庶務・会計担当常務理事の計 3 名が選任された。

I. 平成 18 年度第 2 回常務理事会議事録（案）の確認

原案通り、承認した。

II. 清川 尚総会議長の離任について

清川 尚総会議長は 5 月 31 日付で千葉地方部会から東京地方部会に転入された。については同議長より同日付の転入を以って千葉地方部会代議員でなくなったので、総会議長を離任するとの申し出があった。

次期改選までの間の対応については両副議長に一任したい。

本件に関し、2件の意見があった。

荒木監事「両副議長に一任するのではなく、理事長が両副議長の一人を議長代行者(残任期間まで)として指名する」

足高副議長「武谷理事長より、議長団経験の深い松岡先生に議長のご指名を頂きたい」

協議の結果、9月15日開催の第4回常務理事会で本件につき再度協議することを、了承した。

Ⅲ. 業務担当理事報告並びに関連協議事項

1) 庶務(落合和徳理事)

〔Ⅰ. 本会関係〕

(1) 会員の動向

さいとうかずお
斎藤一夫功労会員(宮城)が6月25日に逝去された。

(2) 第62回学術集会長の公募について

平成18年6月24日付で本会会員専用ホームページ上に第62回学術集会長の公募につき掲載した。併せて機関誌58巻8号に掲載予定である。公募の締切りは9月30日である。[資料:庶務1]

(3) 大谷裁判について

7月13日に第12回準備的弁論が行われた。なお、裁判長の交替があり、9月19日に予定されていた落合常務理事の証人尋問は11月30日に変更されることになった。これに伴い、早ければ年内にも予定された判決が先延ばしになる公算が強くなった。

(4) 平成19年度専門委員会公募小委員会(班研究)研究課題公募について、ホームページ及び機関誌58巻8号に掲載予定である。[資料:庶務2]

(5) 婦人科腫瘍委員会「登録業務と登録業務一元化に関する小委員会」委員について、名古屋大学吉川史隆教授を委員として追加したい。[資料:庶務3]

〔Ⅱ. 官庁関係〕

(1) 厚生労働省

①がん対策室におけるヒアリングについて

6月28日に厚生労働省がん対策推進室においてがん対策基本法(平成19年4月1日施行)に関わるヒアリングが行われた。本会から落合和徳庶務担当常務理事が出席した。[資料:庶務4]

(2) 文部科学省

①定款変更許諾申請について

6月19日付で文部科学大臣宛定款変更(4月22日第58回総会にて承認)の申請を行った。許可あり次第、事務所移転住所に登記変更を行う予定である。

②事務局への文部科学省の実地検査の実施について

3年振り(前回平成15年7月11日)に同省の実地検査が9月25日に行われることになった。

検査項目が多岐に亘るので周到な準備を行いたい。[資料:庶務5]

③科学技術政策研究所「科学技術の状況に係る総合的意識調査」の回答候補者の推薦結果について

理事から推薦頂いた13名のうち、会員の先生11名を回答候補者として本会から推薦することとした。

[資料:庶務6]

〔Ⅲ. 関連団体〕

(1) 日本産婦人科医会

7月10日に第1回学会・医会ワーキンググループ(通算26回)を開催した。

(2) 日本医師会・日本医学会

日本医師会・日本医学会合同シンポジウム(10月12日、日本医師会館)「医師の専門分野の偏在—現状とその対策」が開催されることになり、本会に演者選出の依頼があった。

早急に回答する必要があったため、理事長推薦で吉川裕之学会のあり方検討委員会委員長を演者として推薦した。[資料：庶務7]

(3) 日本内科学会

同学会内のモデル事業中央事務局より「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」の事業実施報告書を受領した(7月7日)。[資料：庶務8]

(4) 日本小児科学会

本会と日本小児科学会の「産科・小児科の集約化」に関する合同意見交換・調整会議を8月1日に開催する予定である。

(5) 日本不妊学会より4月1日付で「社団法人日本生殖医学会」に名称変更するとの通知を受領した(6月26日)。[資料：庶務9]

〔Ⅳ. その他〕

特になし

以上庶務報告事項については、特に異議なく了承した。

2) 会 計 (岡村州博理事)

特になし

3) 学 術 (和氣徳夫理事)

(1) 「朝日賞」候補者推薦について、各理事、学術委員会各委員に依頼した。[資料：学術1]

(2) 日本婦人科腫瘍学会の「体癌ガイドライン」に関し、信州大学小西郁生教授から3点の指摘があった。[資料：学術2]

以上学術報告事項については、特に異議なく了承した。

4) 編 集 (岡井 崇理事)

(1) 会議開催

7月14日に和文誌及びJOGR編集会議を開催する。

(2) JOGR 投稿状況

6月30日現在、投稿数は205編で、Accept 28編、Reject 67編、Withdraw 9編、Under revision 42編、Under review 59編となっている。

以上編集報告事項については、特に異議なく了承した。

5) 渉 外 (丸尾 猛理事)

[FIGO 関係]

(1) Vancouver (カナダ)で開催された SOGC 会議の場で、丸尾渉外担当理事、矢野幹事長同席のもと、FIGO Executive Board メンバーである Dr. Hale (ACOG)ならびに Dr. Lalonde (SOGC)との協議によって、President Elect には Prof. Serour (エジプト)を、Vice-President には Dr. Elizabeth Persson (スウェーデン)あるいは Dr. Shahida Zaidi (パキスタン、前 AOFOG 会長)を、Treasurer には Dr. Jerker Liljestrand を、そして Executive Board メンバー国には、フィリピン、インドネシア、バングラディシュ、チリー、グアテマラ、ウガンダ、UK の 7 カ国を推薦することが提案された (6 月 25 日)。

[SOGC 関係]

(1) SOGC Assistant Administrative の Dr. Seguin より、Dr. Donald Davis が SOGC の新 President に就任したとの書面を受領した。任期は 2006 年 7 月から 2007 年 6 月まで (6 月 19 日付)。

以上渉外報告事項については、特に異議なく了承した。

6) 社 保 (嘉村敏治理事)

(1) 会議開催

8 月 3 日に第 1 回社会保険委員会を開催する。

(2) 外保連に平成 18 年度改正要望書アンケートを提出した (6 月 16 日)。

(3) 外保連に複数手術の加点に関する要望項目を提出した (6 月 28 日)。

以上社保報告事項については、特に異議なく了承した。

7) 専門医制度 (宇田川康博理事)

(1) 平成 18 年度専門医認定二次審査

東京会場(都市センター)と大阪会場(千里ライフサイエンスセンター)で、7 月 29 日に筆記試験、30 日に面接試験を実施する。

(2) 地方委員会専門医認定一次審査通知書を送付した (7 月 3 日)。

また、一次審査合格者に対し審査通知と二次審査受験票を、再申請者に対し二次審査受験票を送付した(7 月 3 日)。

(3) 7 月 20 日に平成 18 年度研修手帳注文書を卒後研修指導責任医宛に送付する。

(4) 平成 18 年度認定二次審査筆記試験問題評価委員会

9 月 1 日に認定二次審査筆記試験問題評価委員会を開催する。

以上専門医制度報告事項については、特に異議なく了承した。

8) 倫理委員会 (吉村泰典委員長)

(1) 本会の見解に基づく諸登録 (平成 18 年 6 月 30 日)

- ①ヒト精子・卵子・受精卵を取り扱う研究に関する登録：58 研究
- ②体外受精・胚移植、および GIFT の臨床実施に関する登録：651 施設
- ③ヒト胚および卵の凍結保存と移植に関する登録：557 施設
- ④顕微授精の臨床実施に関する登録：400 施設
- ⑤非配偶者間人工授精の臨床実施に関する登録：22 施設

(2) 会議開催

①7 月 24 日に第 4 回登録・調査小委員会を開催する。

②6 月 28 日に第 3 回登録調査小委員会を開催した。A-PART 日本支部よりの臨床研究課題：複数施設における悪性腫瘍未婚女性患者における卵子採取、ならびに凍結保存の臨床研究の実施についての協議を行った。

(3) 7 月 5 日付朝日記事「少子化対策 不育症の治療助成考えよ」[資料：倫理 1]

以上倫理委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

9) 教育 (星 和彦理事)

(1) 産婦人科専門医認定審査平成 18 年度筆記試験問題について

3 回の「平成 18 年度専門医認定二次審査筆記試験問題選定会議」の議を経て、平成 18 年度産婦人科専門医認定筆記試験問題を専門医制度委員会に提出した (7 月 7 日)。

(2) 「産婦人科研修の必修知識 2004」レビュアーに対する謝礼・礼状送付について

「産婦人科研修の必修知識 2004」の 82 名のレビュアーに対し、謝礼ならびに礼状を送付した (7 月 5 日)。

以上教育報告事項については、特に異議なく了承した。

IV. 理事会内委員会報告並びに関連協議事項

1) 学会のあり方検討委員会 (吉川裕之委員長)

(1) 会議開催

- ①6 月 30 日に第 1 回女性医師の継続的就労支援のための委員会を開催した。
- ②7 月 14 日に第 2 回産婦人科診療ガイドライン作成委員会を開催した。

(2) リクルート DVD 作製委員会の委員追加について [資料：学会のあり方 1]
信州大学の岡 賢二先生を委員に追加する。

(3) 医師不足関連記事について [資料：学会のあり方 2]

以上学会のあり方検討委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

2) 広報委員会 (稲葉憲之委員長)

(1) パスワード登録状況 (6 月 30 日現在)

[資料：広報 1]

在籍会員 15,534 名

登録済会員 7,818 名 登録率 50.3%

(2) ACOG Website 会員専用ページアクセスについて、ACOG に会員データを送付した (6 月 28 日)。

以上広報委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

3) AOCOG2007 組織委員会 (武谷雄二委員長)

(1) 会議開催

9 月 15 日に第 2 回行事・接遇・旅行・宿泊小委員会を開催する。

4) 生殖医療評価機構検討委員会 (田中俊誠委員長)

特になし

5) 女性の健康週間委員会 (石塚文平委員長)

(1) 会議開催

7 月 12 日に第 2 回委員会を開催した。

(2) 女性の健康週間委員会委員について、大阪並びに名古屋でのイベント開催企画のため、大阪市立大学石河修教授及び名古屋市立大学杉浦真弓教授を委員として追加したい。

以上女性の健康週間委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

以上